

みんぱく研究公演

特別展「ユニバーサル・ミュージアム ― さわる！ “触” の大博覧会」関連イベント

身体で聴く「土の音」 ―― 触れて打つ、揺らして拡げる

2021年11月13日（土） 13:30 - 15:15

会場：国立民族学博物館 みんぱくインテリジェントホール（講堂）

13:30 ～ 館長挨拶：吉田 憲司（国立民族学博物館 館長）

13:35 ～ 趣旨説明「今なぜ『触打・揺拡』なのか」

：広瀬浩二郎（国立民族学博物館 准教授）

13:45 ～ パフォーマンス「土の音」

：永田砂知子（打楽器奏者） & 渡辺泰幸（造形作家）

14:35 ～ 休憩

14:45 ～ 鼎談「音にさわる楽しみ ―― その作法と技法」

：永田砂知子、渡辺泰幸、広瀬浩二郎

15:15 終了

触打揺拡

— みんなの音具が鳴る、みんなが音具に成るために —

この世界はいろんな物でできている
万物が発する音の波動が僕たちを優しく包み込む
いや、僕たちの発する音の波動が豊かな世界を創り出す

僕たちは未知なる道を歩む
それぞれの一步が重なり響き合い、ライブ演奏が始まる
さまざまな行き方があれば、さまざまな生き方がある

触打揺拡

触って打つ、揺らして拡げる

僕たちは手を動かし、音を紡ぐ
僕たちは肌を研ぎ、音をとらえる
大人しい（音無しい）世界は味気ない

かたくてやわらかい、ちいさくておおきい
かるくておもい、つめたくてあたたかい
僕たちの発する音の波動が新たな世界を切り開く

手を伸ばせ、身体を活かせ
春夏秋冬には目に見えない四季の音色がある
耳をふさげば、聞こえない音楽がきこえる

たたく・ぶつける・こする・ころがす
さやさや・じりじり・ふわふわ・ちらちら

つよくよわく、たかくひくく
つるつる・ごつごつ、ざらざら・すべすべ

この世界はいろんな者でできている
僕の声、君の音はどんな手触りだろうか
非接触社会から触発は生まれぬ

この世界の感触を取り戻すために、僕たちの身体を音具にしよう
今、ここから触打揺拡の気が地に満ち、天を貫く

(2021年11月13日、広瀬浩二郎)